

○株式会社リクルート 進路講演会の様子と生徒の感想



「会社で働く大人ってどんな仕事をしているの?～多様な職種×大学での学び～」というテーマで、ご講演いただきました。

☆生徒から株式会社リクルートの方へのお礼と感想

2年 H.Eさん

本日は雨の中、横浜清風高等学校に来てくださり、ありがとうございます。

私は今まで、あまり仕事について考えたことがなかったのですが、今回の講演会で就業者のうち65%が会社で働いているということを知りました。また、「業界」と「職種」の違いがわかりました。サービス業や金融業などのように、「業界」とはその仕事がどのような対象を扱うのかを目安としていること、一方「職種」は職場においてどのような役割を担うのか、に基準があることを学びました。

しかし、実は「国語力が最も必要で大切」という言葉が特に印象に残っています。私は小学校の頃は国語が得意でしたが、今はあまり得意ではありません。国語力の向上に伴って他の教科の成績も伸びたという経験談を聞き、今後は得意科目にしていきたいと思いました。

文理選択をしましたが、専門外のことが必要になる職種もあるので、様々な教科の勉強に取り組んでいきたいと思っています。

2年 S.Mさん

講演を聞き、将来の夢が定まっていなかったとしても、興味があることや一生懸命になれることが学べる大学への進学も可能なのだと思いました。進路に迷っている私にとって、大きな励みになりました。また、大学に入ることがゴールではないということも知りました。私は、なんでもいいので、とにかく大学進学をして就職する、ということしか考えていなかったため、大学で身につけたいスキル等については頭にありませんでした。この機会にしっかりと調べようと思います。

それに私は、正直に言うと、今まで習ってきた勉強は何の役に立つのかと疑問に思っていました。しかし、これまでに培ってきた基礎学力が社会に出てからも求められることを知って、より深く学習していこうと思いました。就職時に多くの人を受けるSPI試験は高校1年生程度の問題が出題されるにもかかわらず、この試験で落ちる人が多いそうです。

これからは、受験の時にだけ勉強ができれば良いわけではないことを再確認し、1年次に習った教科も時々復習しようと思います。また、パネルディスカッションでは「国語は物事を論理的に見て正確にアウトプットする力を養うためにとても大事な教科」だと、講演者の方がおっしゃっていました。私は今まで、他の教科に比べて国語はあまり学習していなかったため、しっかりと学習に取り組もうと強く思いました。

最後に、スタディサプリについても詳しく教えていただいたので、もっと活用したいと思いました。



講演では、SE 職の方と営業職の方にお越しいたいただき、パネルディスカッションを行いました。

2年 S.Y さん

今回の講演会では、今後の進路についてとても大切なことを学びました。「社会人の先輩」として、お二人の若いスピーカーの方のお話を伺いました。村瀬さんと吉田さんです。

村瀬さんは「お金に興味がある」という理由から、大学では商学について学んでいたそうです。高校時代に数学の勉強にしっかりと取り組んでいたため、大学の授業は苦勞せずに済んだとのことでした。もうお一方、吉田さんは「HP づくりに興味がある」という理由で、情報科学を学べる大学に進学したそうです。高校時代には国語をあまり重要視していなかったそうですが、社会人として働く現在では、国語で学んだ一般常識や論理的考察が役立っていると仰っていました。

私は、お二人には共通点が二つあると考えました。一つは、高校時代や大学時代の勉強が現在に繋がっていること、もう一つは好きなことが仕事になっているということです。お二人のお話を伺って、私の今の勉強がどれほど大切なものなのかを再確認することができました。なにより、自分の興味がある専門を学べる大学に進学する重要性もよくわかりました。

そして、大学に入ることがゴールではないとしっかりと胸に刻みました。なぜなら進学後は、自分で履修を決め、登録をして、さらにテストで合格点を取らなければ卒業できません。でも、興味の無い学部・学科を選んできると、大学での学びが退屈になり、やる気が下がり、点数が取れなくなってしまいます。

講演の中でも、「約7人に1人が中退してしまう」という内容もありました。私は、「7人に1人」はとても高い割合だと思いました。途中退学だけは避けたいので、大学選びをより慎重に、真剣に行っていきたいと思いました。

貴重なお話を高校生のうち聞くことができ良かったです。ありがとうございました。

2年 K さん

私にとっては、「会社」では専門的な技術や知識を持った人ばかりが必要とされるイメージでした。しかし、実は高校程度の基礎学力が前提として採用されていることがわかりました。

私はまだ、将来どのような職種、職業に就きたいのかが決まっていません。まずは興味のある分野を見つけていくことが必要であり、そのためにも、普段から自分の得意分野や将来性をきちんと考えるべきだと思いました。そして、好きなことや興味のあることを突き詰めていくことが大事だと思いました。

また、到達度テストの意義を教わりました。「テストを受けて終わり」ではなく、定着度を測り、次のステップに繋げていくテストなのだそうです。私は今まで、優先順位の高い単元はスタサプを使って見直しができていました。苦手科目や分野を克服するためには、今後もこの方法を続けると効果的だということがわかりました。さらに、もっと優先順位の高い単元を重点的に取り組んでいきたいです。

キャリアについて、ご講演頂きありがとうございました。これから興味のあることをもっと探していきたいと思います。